

平成 29 年度 日本手術看護学会九州地区熊本分会 第 1 回研修会報告

平成 29 年 6 月 20 日

日本手術看護学会九州地区熊本分会長 松原 雅子

研修会テーマ 「根拠に基づいた手術体位作成方法について」

1. 日時

平成 29 年 6 月 4 日（日）13 時～16 時 30 分

2. 場所

熊本大学医学部附属病院 医学教育図書棟 3 階 第一講義室
および総研棟 3 階講習室

3. 参加者

熊本県内および近県の手術室看護師 100 名（会員 11 名、非会員 89 名）

4. 内容

認定看護師による手術体位作成についての講義の後、体位ごとに 5 グループに分かれて演習を行った。

5. 講師（50 音順）

大石美華（国立大学法人佐賀大学医学部附属病院）
尾方陽子（独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター）
上村仁美（公益社団法人宮崎市郡医師会宮崎市郡医師会病院）
河原香奈子（宮崎県立宮崎病院）
北園千尋（公益社団法人鹿児島県済会南風病院）
木村綾乃（社会福祉法人恩賜財団済生会支部済生会熊本総合病院）
田口知世（社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院）
樋渡行雄（医療法人福岡徳洲会病院）
松元勇智（鹿児島市立病院）
山上進之介（熊本市市民病院）
吉田裕二郎（国立大学法人熊本大学医学部附属病院）

6. アンケート集計結果（回収率 96%）

1) 経験年数

1 年未満	1～3 年	3～5 年	5～10 年	10 年以上
25 名	41 名	12 名	10 名	8 名

2) 研修の感想

よかった	どちらとも言えない	よくなかった
95 名	1 名	0 名

(自由記述)

- ・実践に活かせる内容だった。
- ・圧測定を行い圧がかかる部位の分散方法と根拠ある体位作成を学ぶことができた。
- ・患者体験ができたのが良かった。貴重な体験だった。
- ・実際に自施設でやっている方法で作成したあとアドバイスをもらえたのが良かった。
- ・神経の走行が分かりやすくて良かった。
- ・他施設の方法も見ることができ、意見交換ができたのが良かった。
- ・自施設に持ち帰って、もう一度検討する必要があると感じた。
- ・外回りを始めたばかりなので勉強になった。
- ・新人教育の指標となった。
- ・普段見落としている細かいところがあることに気づいた。

3) 今回の研修はどのようにして知りましたか

- ① 学会ホームページ (2 名)
- ② 施設に送付された案内文書 (83 名)
- ③ 知人から聞いて (9 名)

7. 総括

日常の看護実践にすぐに役に立つ内容で、参加者の満足度は非常に高かった。
さらに、手術認定看護師から直接指導を受けることができたことや、他施設の看護師との交流の場としても有意義な研修会となった。